



保育所だより



令和6年3月号
中部保育所
Tel.63-3221 090-5693-1233

寒さの中にも秋に植えたチューリップが芽を出し、春の訪れが待ち遠しく感じられます。

今年度もあとひと月となりました。この一年、子どもたちは様々な体験を通して心も体も大きく成長しました。今月は締めくくりの月として、子どもたちと一緒に進級や就学を楽しみにしながら一人一人の育ちを見つめ、自信を持って新しいスタートができるよう支えていきたいと思います。

保護者の皆様には、多くのご支援とご協力をいただき、職員一同心より感謝いたしております。ありがとうございました。

3月の行事予定

- 1日(金) ひなまつり会(ひなまつりコンサート)・誕生会
- 4日(月)～8日(金) 身体測定週
- 5日(火) 「元気いっぱいひらたっ子」撮影(パート2)
- 6日(水) 巡回相談日(山田心理相談員来所)
- 〃 きりん組親子おわかれ会(13:30～)
- 7日(木) 弁当の日 なかよしデー(お楽しみ会)
- 8日(金) お別れ会 集金日
- 10日(日) 清掃奉仕(9:00～10:30)
- 〃 保護者会役員会③10:30～
- 12日(火) あいさつ運動
- 14日(木) あいさつの日
- 19日(火) 入所説明会(18:15～令和6年度新入所児保護者)
- 20日(水) 春分の日【祝日:休所】
- 21日(木) 修了式リハーサル
- 22日(金) きりん組 半日保育(12:30降所)
- 25日(月) 令和5年度修了式(10:00～)
- 28日(木) 令和5年度保育修了 お集まり会
- 〃 布団・衣類持ち帰り
- 29日(金)・30日(土) ◆当所にて希望保育
*避難訓練 予告なし



4月の主な予定

- 1日(月) 令和6年度保育開始
- ◆のついている行事につきましては、後日おたよりで詳しくお知らせします。

ひよこ組
砂遊びは楽しいよ!



きりん組さん
ご修了おめでとう
ございます

保育目標～〇入学・進級を楽しみにして過ごそう。

一人一人が、大きくなったことやできるようになったことを喜んだり、自信を持って進級・入学できるようにしたりします。また、進級する保育室で遊んだり給食を食べたり、きりん組は、小学校での生活について話をしたり、机と椅子で過ごす時間を作ったりして、4月から始まる新しい生活に期待が持てるようにします。

生活目標～〇身の回りのことを自分でしよう。(3～5歳児)

〇身の回りのことを保育士と一緒にしよう。(0～2歳児)

うさぎ・ぱんだ・きりん組は、手洗い・食事・排泄・着替えなどの基本的な生活習慣が身に付いているかを確認し、持ち物の整理整頓を自分でしようとする気持ちを大切にしながらかわり、自信につなげていきます。

ひよこ・ことり・りす組は、先月に引き続き手洗いや着脱など、簡単な身の回りのことを保育士と一緒にやり、自分でできたという気持ちを持てるよう保育士が見守ったり手を添えたりしていきます。



りす組
鬼さんが来たよ。

うさぎ組
雪に絵の具のシロップを
かけてかき氷作りをしたよ。



ぱんだ組
縄跳びをがんばったよ!



ことり組
一緒に作ろう!



お知らせ・お願い



★わがとこテレビ取材について(5日)

5日(火)は、『元気いっぱいひらたっ子!』(パート2)の取材があります。今回は、りす・ことり・ひよこ組の様子を撮影されます。また、きりん組の出席番号後半の子どもたちのインタビューの撮影もあります。

【放送日時】

- ・22日(金) 午後6時15分～(1時間おきに放送)
- ・29日(金) 〃 〃 ～(1時間おきに放送)
- ・23日(土) 午後7時15分～(3時間おきに放送)
- ・24日(日) 〃 〃 ～(3時間おきに放送)



★集金日について(8日)

今月は新年度用品の代金も併せて集金させていただきますので、よろしくお願い致します。なお、用品のお渡しは3月中旬の予定です。

★お別れ会(8日)

もうすぐ修了するきりん組にありがとうの気持ちを込めて、子どもたちと職員でお別れ会をします。

★令和5年度修了式について(25日)

午前10時から令和5年度修了式を行います。きりん組保護者の方はご出席ください。

※22日(金)は修了式準備のため、きりん組は給食後、12時30分降所の半日保育にご協力をお願いします。

※当日は、4歳児ぱんだ組は式に参加しますので、9時までに登所してください。

★年度末希望保育について

29日(金)・30日(土)は希望保育とさせていただきます。新年度の準備をします。お忙しいとは存じますが、ご協力くださいますようお願い致します。詳しいおたよりは後日配布します。



職員出張関係 ▽は午前・△は午後の研修

2日△医療的ケア児とその家族の支援に関する研修～角

子育てのヒント 「こどものじかん」は豊かな人生の根っこです

子ども時代、何気ない日常で体験した時間は、私たちが思っている以上に、大切な自分の根っこを形成しているように思うことがあります。

親としては、わが子に対して、他の子と比べてどうかとか、早く何かができるようになったかなど、枝葉の部分がとても気になりがちです。でも、大人になって大切な記憶となっているのは、このような、一見、何のためにもならないような、何気ない日常の心を動かした小さな体験の中にあると思うのです。そう考えると子ども時代に大切なことは、毎日の遊びや生活の中での、小さな幸せの時間なのかもしれません。

「ひととはみな

みえないポケットに

こどものころにみた 空のひとひらを

ハンカチのように おりたたんで

入れているんじゃないだろうか」



これは、私の大好きな詩の冒頭の言葉です。作者の工藤直子さんはこの詩の中で、心を動かす日常の小さな体験を、「こどものじかん」と呼び、それは、「生まれる前からあって、死んだ後まで続いていると思う」とつづっています。

現代は、「こどものじかん」を充実させることが難しい時代です。いまの子どもたちには自然に触れる外遊びの時間、異年齢での群れ遊びの時間、ひとりでぼんやりする時間が減りました。だからこそ、乳幼児期の子育てや保育の場では、こうした「こどものじかん」を意識的に保障することが大切なのだと思います。 書籍「子育てを元気にすることば」 大豆生田啓友 著より一部抜粋

大人は、子どもと過ごす中で「早く」とか「効率よく」と思うってしまうこともあります。しかし、子どもにとっては、目の前で起きている何気ないことを一緒に見たり感じたりすることの方が大事な時間なのだと思います。何気ない日常の中でこそ、子どもとのやりとりや会話を大切にしながら、「小さな幸せ」を一緒に味わいたいものですね。

保育会全体研修の日の保育時間の変更について

3月6日(水)は、平田保育会の職員研修を18時30分から行うため、**保育時間を18時30分まで**とさせていただきます。

職員全員が参加する研修です。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。